

第4回札幌市公共交通協議会 説明資料

2023年（令和5年）11月7日（火）

目 次

1. 第3回協議会の振り返り P2
2. バス部会の開催状況 P4
3. 参考情報（市内路線バスの現況） P5
4. 今後の検討・スケジュール P6

1. 第3回協議会の振り返り

■ 第3回協議会における議論の内容

・ 市民意見収集の結果

・ 札幌市の公共交通の課題整理

課題①：需要に応じた移動手段の確保

課題②：運転手不足への対応

課題③：収入の確保

課題④：利用者の利便性向上

・ 目指すべき将来像・基本方針（案）

将来像：市民・事業者・行政の協働でつくる、まちと暮らしを支える持続可能な公共交通ネットワーク

基本方針①：効率的・効果的な公共交通ネットワークの構築

基本方針②：持続可能で安定した運営体制の確立

基本方針③：利用環境の向上等による利用促進

1. 第3回協議会の振り返り

■ 前回協議会における指摘事項と対応

| 指摘事項 | 詳細内容 | 対応 |
|-----------|--|---|
| 基本方針の見直し | <ul style="list-style-type: none">• 目指すべき将来像で示す「まちと暮らしを支える持続可能な公共交通ネットワーク」を実現するには、一定の利便性を確保し、市民から信頼され、利用してもらえる公共交通とすることが必要だが、基本方針案からはその部分が読み取れない。• 特に、基本方針①の「効率的・効果的」というキーワードが少し無機質に感じるため、見直す必要がある。 | <ul style="list-style-type: none">• 基本方針の内容を見直しを実施【資料4 P3】 |
| 地域交通 | <ul style="list-style-type: none">• 高齢化の問題が顕在化している中で、様々な公共交通を組み合わせ、区毎に「区内の循環的な移動手段」と「都市部への横断的な移動手段」を確保していくことが求められる。• 交通の状況や生活環境など、区毎の特徴を踏まえ、地域の利便性をどのように確保していくか検討する必要がある。 | <ul style="list-style-type: none">• 地域交通の考え方を整理【資料4 P13、P21】• 区別の実態を整理した資料を作成【資料5】 |
| 新技術の検討必要性 | <ul style="list-style-type: none">• 運転手不足という供給面の制約がある中で、最適化による調整等で利便性を確保するには限界があるため、抜本的な解決を図る意図で、長期的な視点で新技術の活用可能性について検討する必要がある。 | <ul style="list-style-type: none">• 施策整理に反映【資料4 P25】 |

2. バス部会の開催状況

■第1回バス部会

- ・ 令和5年8月21日（月）13:00～
- ・ 部会委員8名中8名参加

■第2回バス部会

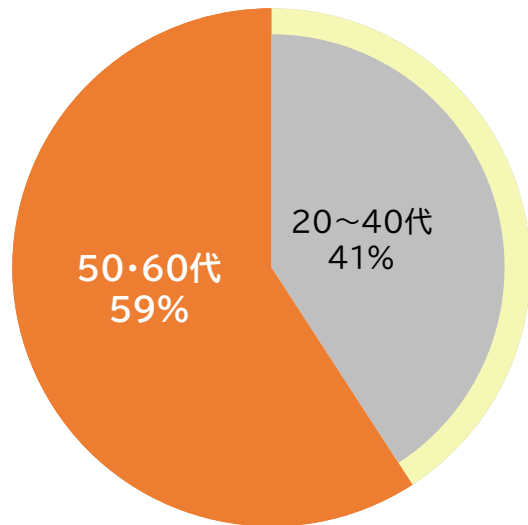
- ・ 令和5年10月3日（火）15:00～
- ・ 部会委員8名中8名参加

■検討内容概要

現状のバスネットワークの状況および必要な取組について
検討を行い、協議会へ提案する資料の原案を作成
→原案を元に、本日の協議会資料として事務局で再整理

3. 参考情報（市内路線バスの現況）

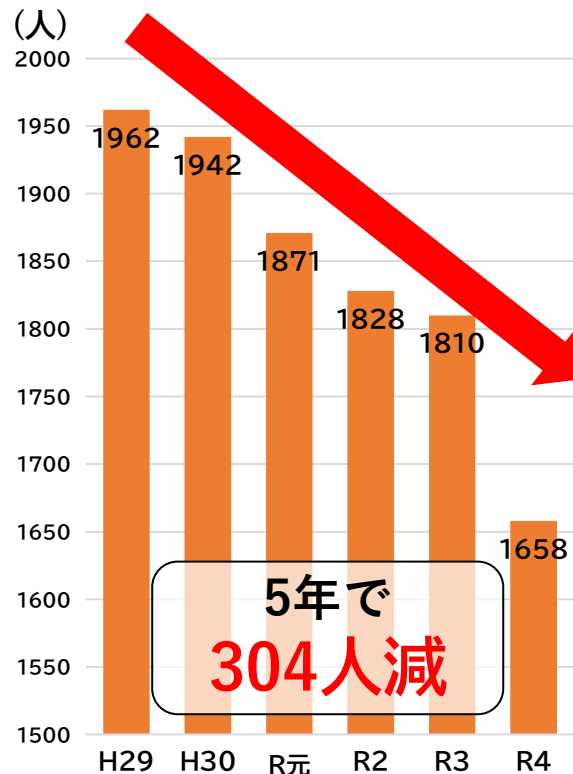
■運転手の年齢構成



約6割が
50・60代
(R4時点)

※札幌市内の路線バス事業者への調査結果

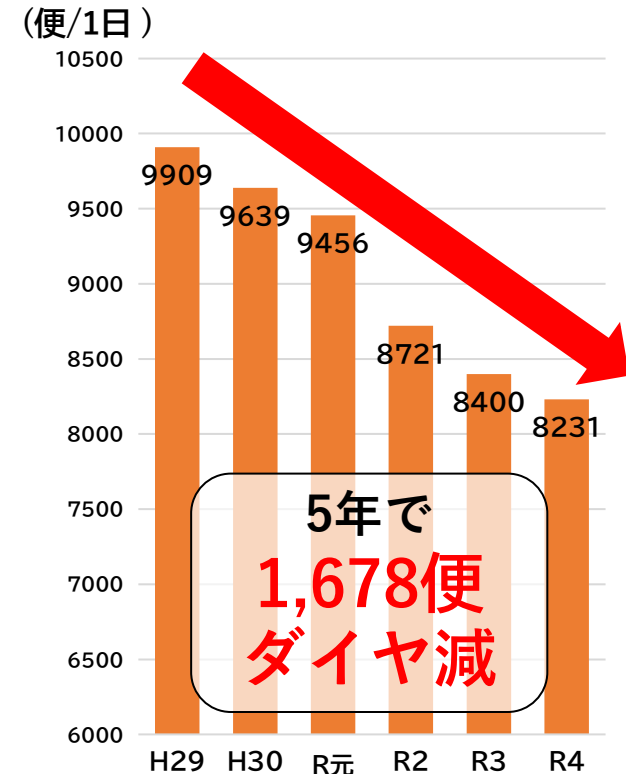
■運転手数の推移



5年で
304人減

※札幌市内の路線バス事業者への調査結果

■運行便数の推移



5年で
1,678便
ダイヤ減

※市内完結路線の便数
(出典) 札幌の都市交通データブック2022

